風薫る季節、東谷地区にも新しい風が吹き始め…

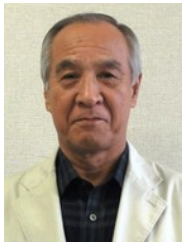
■　発　行
東谷地区まちづくり協議会
■　編　集
まちづくり協議会広報部会
責任者　鯰川昭代
■　所在地
小倉南区木下704-1
東谷市民センター内

令和７年5月15日
(木曜日)

問い合わせ
東谷市民センター
TEL/FAX 093-451-0217
平日・土曜　9:00～17:00
http://higashitanikoho.sakura.ne.jp/
Mail to: higashitani.cc@silk.ocn.ne.jp

市丸小学校運動会　5月18日(日)
新道寺小学校運動会　5月24日(土)
東谷中学校体育大会　5月30日(金)

買い物支援、送迎プロジェクト始動



東谷地区社会福祉協議会　前会長
延吉　和典

東谷地区社会福祉協議会では、令和６年度より東谷地区の住民のための買物支援を検討してきました。東谷地区の人口は現在、約４４００人ですが高齢化率は４６％で、75才以上の方が約１２００人いらっしゃいます。

福祉協力員や民生委員の方たちとの懇談の結果、運転免許証の返納や田川からの西鉄バスの撤退等の影響で、買物に不便さを感じている高齢者の方が多くいらっしゃる事がわかりました。そのため社協では、東谷唯一のスーパーマーケットである『ケンちゃんの村』に東谷の高齢者のために何らかの買物支援を考えて頂けないかとお願いしてきました。

『ケンちゃんの村』は私達の要望を真剣に受け止めて下さり、野村社長から「隣の『タイガートラベル』と協力して買物客の送迎をしましょう」との提案を頂きました。そのおかげで、買物客送迎のプロジェクトがスタートしたのです。

平尾台は以前から移動販売の業者が来ております。また、新道寺一は歩いて『ケンちゃんの村』に行ける方が多いので、バスでの送迎は必要ないとの事でした。また、母原も現在のところ送迎の必要はないとの事でした。前記の３町内を除く９町内を対象に送迎バス運行を開始する事になりました。

対象の９町内を（呼野・小森）（市丸・木下）（新二・新南）（石原町・紫水）（井手浦）の５つのブロックに分けました。１月14日を皮切りに、４月28日まで計14回の買物支援送迎を実施しました。総利用者数は１２２人に上ります。１回当たりの平均利用者数は８・７人になります。この数字が妥当かどうかの判断はさておき、９町内で60人を超える高齢者が買物支援送迎を望んでいるという現実を踏まえて、このプロジェクトを開始しました。４月28日で各ブロックを２ラウンド（２周）しましたが、利用者には大変好評で本当に喜んで頂いております。

『ケンちゃんの村』では、エアコンの効いた温かい待合室を用意して頂き、お茶とお茶菓子までサービスして頂きました。買物後、帰りの便を待つ間、待合室で温かいお茶を飲みながら、買い忘れがないかメモを見てチェックしている方や友人たちと楽しそうにおしゃべりをしている情景が見られ、この企画を考えて本当に良かったと感じている次第です。

買物客は送迎の運賃を払わず、全て『ケンちゃんの村』が負担します。温かい待合室とお茶まで用意して頂き、これで『ケンちゃんの村』は採算が合うのだろうか、と心配していました。この点がこの企画の一番のキーポイントだったのですが、どうやらその心配はないようです。『ケンちゃんの村』の関係者も、決まった顔ぶれの買物客が決まった日に来店してくれることにある種の安心感を持って見守って頂いているようです。店員の方もこのプロジェクトの買物客と顔なじみになり、会えば会話が弾んでいるようです。

買物支援はまだ試験的運行が始まったばかりですが、利用者には大変好評で喜んで頂いております。これからも色々と改善すべき点が出てくると思います。乗降地の変更とか、買物の荷物を後で自宅まで運んでもらう事とか色々な要望があるようですが、将来はそういうサービスも現実的に可能性があるようです。

このプロジェクトは、買物客・ケンちゃんの村・タイガートラベルの三者に長期的なメリットがなければ意味がありません。三者がそれぞれの立場でこれを念頭において取り組んでいって頂ければ幸いです。

どうぞよろしくお願いします

東谷出張所
所　長
松下　修祐

令和７年４月１日付で東谷出張所長に就任いたしました。これまで戸畑区役所総務企画課でまちづくり担当として勤務しておりましたが、定年退職後、再任用職員としてこの地に参りました。小倉南区での勤務は、新規採用職員として、当時あった徳力区画整理事務所で勤務して以来、実に三十数年ぶりとなります。

東谷地区は、日本三大カルストの一つとして知られる平尾台の雄大な自然や歴史ある文化、そして地域の皆さまの温かい人柄が魅力的な場所です。こうした恵まれた環境の中で、コミュニティ活動も活発だと伺っています。

現在、小倉南区役所では平尾台の観光振興を図り、地域の活性化につなげていく「平尾台リブランディング」の取り組みを進めています。このような重要な時期に、この地で働けることを、私自身大変嬉しく思います。

特に平尾台観光祭や東谷フェスティバル、平尾台野焼きなどの行事を通じて、地域の活気や絆を感じられることを楽しみにしております。これらの行事を通じて、平尾台をはじめ東谷地区の新たな魅力を発見し、地域の皆さまとともにその魅力を広く発信していきたいと考えております。

また、出張所の本来業務である各種受付業務や地域の皆さまのサポートにも、誠実に取り組んでまいります。これまでの市役所での勤務経験を活かし、地域の皆さまに寄り添いながら、より良い地域づくりに貢献していく所存です。

職員一同（全４名）とともに、地域の皆さまとの信頼関係を築き、東谷地区の発展に少しでも力になれたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

買い物支援バス運行予定
（始発乗降地点　10時出発）

◆ 呼野・小森	…	第１・第３　月曜日
◆ 市丸・木下	…	第１・第３　火曜日
◆ 新二・新南	…	第２・第４　月曜日
◆ 石原町・紫水	…	第２・第４　火曜日
◆ 井手浦	…	第２・第４　金曜日

（乗降場所は、各町内にてご確認下さい）

「妊産婦・乳幼児なんでも相談」
ちっちゃいたまご
5月27日(火)
10：30～11：30
東谷市民センター和室
★母子健康手帳・バスタオル持参
問合せ：
小倉南区役所保健福祉課
TEL　951-4125

安全安心パトロール
・5月22日(木)19時30分～
・6月13日(金)15時～
東谷市民センター出発！

東谷コミュニティカレンダー

5月
16日（金）まちづくり協議会総会
19日（月）わいわいサロン（紫水）
20日（火）市民講座「不整脈の話」
21日（水）サロンばんざい（木下）
22日（木）呼野ニコニコ会（呼野）
安全パトロール
19時30分～
24日（土）わいわいサロン（紫水）
25日（日）東谷興農会総会
26日（月）稲穂サロン（新二）
わいわいサロン（紫水）
31日（土）谷っ子クラブ
「ほたるの観察会」

6月
2日（月）わいわいサロン（紫水）
4日（水）サロンばんざい（木下）
6日（金）ふれあい昼食会
9日（月）わいわいサロン（紫水）
11日（水）いちまるカフェ（市丸）
13日（金）市民講座　映画鑑賞
「おくりびと」
安全パトロール　15時～

5月の絵手紙

絵手紙教室　東谷市民センター和室
5月23日【金】10時～お気軽にどうぞ

藤井　多美子　さん　作

裏面もご覧ください

東谷健康づくりコーナー

「夏に気を付ける健康問題」

東谷医院
院長
白原　昶

みなさんこんにちは、東谷医院の院長白原です。日ごろから皆様にお世話になっております。激変する東谷地区の医療や介護を取り巻く現状に、日々奮闘していますが、なかなか力足らずというとこでしょうか。

さて、次第に暖かくなってきており、過ごしやすくなってきておりますが、すぐ6月・7月と次第に暑くまた湿度も高くなってきます。またつらい夏がやってきます。今年の気象庁の予報では、昨年まではないものの平年より暑くなることが予想されており、かなりの酷暑なりそうです。

そのため、熱中症予防や食中毒対策が重要です。

熱中症対策は、具体的にはこまめな水分補給や塩分補給、通気性の良い服装、室内温度の調節等が挙げられます。

食中毒対策は、おもに食中毒菌を「つけない」「増やさない」「やっつける」の３つの原則が重要になってきます。具体的には調理器具の清潔を保ち、食品を適切な温度で保管し、十分加熱することなどが重要になってきます。

また、暑さが続くと免疫力も下がり、色んな感染症にもかかりやすくなり注意が必要です。

上記のことや、健康に関して夏の間に注意する点を、６月21日に市民センターでお話しできる機会があります。皆さんぜひ参加してください。

東谷郷土資料館だより　13

（溝口　連翁と昔語り）

東谷郷土資料館委員　　西田　順一

溝口　連氏は明治36年(1903年)3月26日に木下の本村でお生まれになり平成元年真下(1989年)6月6日にお亡くなりになりました。享年86歳とお聞きしています。その一生を東谷の発展に尽くされました。その功績はあまたありますが郷土史愛好会「三谷昔語りをする会」の中心同人として活躍され、旧郷土資料館の設立にも貢献されました。また昭和40年代に行われた北九州市の民族調査にも東谷地域の担当として多くの伝承や昔話などを収集し残されました。また聞き取られた話を元に多くの物語を創作されました。代表的なものは原口九右衛門さんの企救一揆を扱った「企救一揆」、木下の本村に伝わる「椋木の神様」のお話、呼野の「お糸物語」、平尾台の「虚無僧奇譚」、井手浦の悲恋物語「みょうと(めおと)星」などがあります。これらの物語は「三谷昔語り合本」「企救一揆」などりっぱに製本されたものもありますが中にはガリ版刷りの三谷昔語りの会報にのみ掲載されたものもあります。今年度はこの溝口　連氏の創作を折を見てご紹介していきたいと思います。

第一回目は井手浦の「みょうと(めおと)星」を紹介したいと思います。日時は5月23日(金)13時から14時、場所は市民センター2F第一集会室を予定しています。ご興味のある方は、090-8604-4544(西田)までTELもしくはショートメッセージで連絡ください。

「写真でみるひがしたに歳時記」

正面入り口では五月人形の大きなパネルが出迎えてくれていました

荻駐在所長によるニセ電話詐欺予防のお話もありました

5/2　健康料理普及講習会

よろしくお願いします

木下町内会
会　長
中島　博澄

四月より木下町内自治会長を務める事となりました中島博澄です。ひと昔前までは、会長職は名誉職と言われていた時期もあった様ですが、今では面倒な仕事に大半の時間を奪われ、労多くして益少なしとどの地区でも成り手不足に苦労されているとと聞いておりました。

私の場合は、二月末の亀甲地区の午前中の総会にて、既に会長に決まっていた方の親族の方より「病気入院し、会長を務める事が難しく辞退したい」との申し出が有り、一時大混乱、その日の夕方近く二人の隣組長さんが訪ねて来られ「もう中島さんしかいない、ここが最後の砦です」と頭を下げられ、私もそこまで言って頂けるのならと成り行きでお受け致しました。

ところが、それからが大変でした。会長とは、何者？いったい何をするの？考えてもわかるはずもなく、不安だけが自分の中で大きく膨らんでいき、引継ぎではファイル五十一冊、分厚い書類が数冊あり、これを今月中に目を通しておいた方が良いと言われ、この時には既に不安は恐怖へと変わっておりました。

しかし、これを解消してくれたのが、そっと渡してくれた二冊のノート、古田会長と奥村前会長の業務日誌でした。これを読むうちに一年間の会長の仕事の流れ・内容が把握でき、ぼんやりとですが全体像が見えて来る事で私の不安はいつの間にか消えておりました。又、四月一日には区役所・消防署・小中学校等、十数名の方々に挨拶に行くのだと言われ、「ご一緒して頂けるのですか？」との問いに「会社じゃあるまいし一人で行くに決まっとろうが」と言われ、逆にこの挨拶回りがまた一つの自信に繋がった様に思えます。

それともう一つ、今年は木下町内が祭りの当番に当たっている事です。初詣にさえほとんど行かない私が、祭りの実行委員長になるなんて鼻で笑われそうな話ですが、木下にはすごい人材が多数いる事が分かり、この方々の力をお借りできれば必ずや成功すると確信に至りました。

最後に、東谷地区の皆様、木下町内の皆様、どうぞ二年間宜しくお願い致します。

自然の中でのびのびと

旭ヶ丘保育園
園　長
鎌田　旭

先日、タケノコ堀りへ園児を連れて出掛けてきました。園舎から徒歩10分ほどで着く竹山で、４月の初旬から天気がよければ毎週土曜日に出掛けています。収穫したタケノコは年長組と年中組の園児が大事に抱えて園舎まで持って帰ります。そこで年少組の園児が合流し、みんなで皮むきをします。一仕事こなした子ども達は昼食までの時間、原っぱや園庭を走りまわって遊びに興じます。それは、昔も今も変わることのない子どもの姿です。

昨今、体力が低下しているとか集中力が続かない等言われています。背景として、ゲームやユーチューブ等の動画に置き換わってきていることが要因の一つと言われています。遊び方がごっこ遊びからデジタル遊べる場所が少なくなりました。昔は身近な場所で空き地や田んぼ、川があれば遊び場になりました。危険を伴うこともあるので、あらかじめ注意して備えることも大人がよく教えてくれたので、体験をとおして学べたことが沢山あったと思います。そして、私自身、幼年期を楽しく過ごした記憶は生涯の宝物のように思えるのです。

旭ヶ丘保育園では「よく学び、よく遊べ」の言葉を理念のもとに保育を行います。基本として考える基礎力は本読みで身につけます。応用として、語りの時間では園児が話し合うテーマを用意し、保育者と一緒に考えます。一人ひとりが発言し、みんなが耳を傾けます。大事なことは、日課として続けていくことです。また、「よく遊べ」はとても重要で、遊びを通して人間関係や様々な感性が育ちます。そして、楽しかった嬉しかった体験はその後の人生において困難を乗り越える力となります。園生活では沢山の体験と友達との関わりが持てるように保育者が援助していきます。

これからも東谷の自然に恵まれた環境のなかで、子どもの成長と笑顔を励みに共に歩んでいければと思います。子育ての援助というかたちで少しでも地域への貢献につながれば幸いです。

東谷まちづくりメール会員募集！

令和7年度も東谷地区まちづくり協議会広報部会の活動を支援して下さる「東谷まちづくりメール会員」を募集します。

◆個人会員（年会費　1,000円）
◆賛助会員（年会費　3,000円）
※会費はまちづくりだよりやホームページ作成などの活動費の一部とします。
◆特典…まちづくり新聞のメール配信やまち協のイベント等の情報をメールでお知らせします。その他特典あり！！
◆お問い合わせ
東谷市民センター　☎451-0217

表面もご覧ください